

7 区 共 通 予 算

区政総務費・戸籍住民基本台帳費では、区役所等庁舎・設備の整備、道路施設等の大規模補修、区役所の各区域にまたがる事業に関する予算を計上しています。

ここでは、それらの主な内容について御紹介します。

<予 算 額>

9,832,242千円 (対前年度比：+37.7%)

<主な事業>

問合せ先：市民文化局庶務課 200-2255 内) 26101

共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化

区役所等庁舎整備の推進 864,290千円

○E S C O事業の導入による中原区役所の空調設備等の更新や、川崎区・支所機能再編整備事業における支所庁舎建替整備の事業手法検討など、区役所等庁舎の整備を進めます。(新規)

区役所改革の推進 62,745千円

○「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、多様なつながりを育みながら、区域レベルの拠点となる場「ソーシャルデザインセンター」の創出に向けた検討を区ごとに行い、多摩区に加え、順次モデル実施するとともに、地域レベルの居場所「まちのひろば」の創出に向けた取組を引き続き進めます。(拡充)



ソーシャルデザインセンター
開設に向けた多摩区フォーラムの様子

○「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」に基づき、共に支え合う地域づくりとコミュニティ形成を推進する身近な地域の拠点として、宮前区役所向丘出張所機能のあり方の検討を進めます。

○地域のことをよく知り、かつ地域をコーディネートする能力や協働のマインドを持つ職員の育成を図ります。

戸籍・住民基本台帳事務等の利便性向上 2,897,827千円

○戸籍・住民票等の証明書のコンビニエンスストアでの取得を推進するため、マイナンバーカードのさらなる普及促進を図ります。(拡充)

○市民の利便性向上等を図るため、区役所事務サービスシステムの再構築を進めます。

問合せ先：建設緑政局庶務課 200-2785 内) 38201

市内道路施設の維持管理・大規模補修 1,452,328千円

○各区の道路等について、適切な維持管理を計画的に実施することにより、道路交通の安全を確保し、市民の快適な生活環境を維持します。

・主要地方道東京大師横浜舗装道補修工事等

公園緑地・街路樹の維持管理 1,762,815千円

○公園や街路樹を適切に維持管理することにより、安全・安心な施設等の利用環境の維持・向上を推進します。

・公園内施設清掃の充実や公園の樹木剪定等
・大きく育った街路樹の健全度調査や剪定の実施等

<予算額>
問合せ先:総務課 201-3121 内) 61110
1,586,740千円

(対前年度比: +2.1%)

<主な事業>
地域資源を活かしたまちづくりの推進
22,407千円

- 歴史・文化資源を活かしたスタンプラリーなどのイベントを地域と協働して開催することにより賑わいを創出するとともに、平成30年度に策定したロードマップを踏まえた新たなプロジェクト推進組織を立ち上げ、東海道川崎宿起立400年を迎える令和5年に向けて、地域全体で盛り上げていく機運づくり・連携体制の確保を図ります。(拡充)
- アメリカンフットボールの拠点である「富士通スタジアム川崎」でのアメリカンフットボール体験イベント等により、地域のスポーツ資源の魅力を発信するとともに、「カルッツかわさき」でのボッチャをはじめとした障害者スポーツ体験会を実施するなど、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されることに合わせて富士見公園周辺施設を活用してスポーツと触れ合う機会や地域交流の場を提供します。(拡充)
- 川崎区の魅力をアピールできる地域資源を集めた「かわさき区宝物ガイドマップ」と、健康づくりを目的にした「ウォーキングガイドブック」を一体化した冊子を発行し、地域の魅力を感じ、楽しみながらウォーキングしてもらうことで、川崎区のイメージアップを図ります。


**旧東海道周辺をめぐる
スタンプラリー**
区のイメージアップに向けた環境まちづくりの推進
5,287千円

- 道路への不法投棄やポイ捨てが課題となっている東扇島地区の道路環境改善に向けて、ごみ量が特に多い中央分離帯の植樹を土系舗装に改良し、ごみを捨てにくい環境づくりを進めます。
- 県立川崎高等学校養蜂部の活動を地域緑化の観点から支援し、養蜂活動を地域住民等に周知するために学校等と連携したイベントを行うことにより、区内における地域緑化の一層の推進と区のイメージアップや魅力の向上を図ります。


**中央分離帯の植樹を
土系舗装に改良**
誰もが安心して、生き生きと暮らせるまちづくりの推進
3,711千円

- 地域包括ケアシステムに関するリーフレットを作成するとともに、さまざまな機会を捉えた普及啓発に引き続き取り組みます。さらに地区カルテ等を活用したワークショップの開催等により、地域情報や課題を区民と共有し、地域における多様な主体と顔の見える関係を築きながら、支え合いの地域づくりを進めます。
- 第2の人生をより自分らしく過ごすための冊子「私の人生ノート」、膝や腰を痛めずに生活する方法を学べる「一生使える身体づくり」、川崎区のご当地体操である「ほほえみ元気体操」のDVDなどのツールを活用し、区民が楽しみながら健康づくりができる活動を推進します。


私の人生ノート

地域における子ども・子育て支援の推進

10,626千円

- 保育所、学校、福祉施設等の子育て支援機関からの申請に基づいて、ボランティアによる通訳・翻訳を行い、日本語に不慣れな子どもや保護者を孤立させないための支援を行います。
- 不登校やひきこもりなどの問題を抱える子どもの居場所「こどもサポート旭町」を週4日開所し、子どもの状況に応じた社会参加を促します。また、利用人数の増加に伴う体制の強化を行うとともに、保護者相談や子どもの心理的ケアなどをより丁寧に行い、子どもと保護者に寄り添った支援を進めます。(拡充)
- 子育てガイドブック「さんぽみち」の発行、ホームページ等による情報発信、区役所での情報コーナーの設置等により、育児不安や子育ての孤立化に悩む保護者への不安軽減や育児支援のために、保育所の増加や制度変更等の変化する子育てに関する情報の効果的な発信を行います。
- 日本語に不慣れな小中学生が学校生活や地域生活に適応し、健全で安心な生活を送れるよう、日本語能力の習得や教科の基礎学習の支援を行うとともに、孤立を防ぐための居場所づくりを推進します。

安全・安心なまちづくりに向けた地域防災力の向上

7,447千円

- 台風災害対応を踏まえた避難所機能の強化を図るとともに、地域防災力の向上を目指し、より実効性の高い避難所開設・運営訓練、津波避難訓練、外国人市民を対象とした防災訓練等を区民や関係機関等との連携により実施します。(拡充)
- 区民・事業者・行政で構成する区危機管理地域協議会において、地域防災の課題等を検討するとともに、区災害対策本部の強化に向けて、実践的な職員向け訓練・研修を実施します。

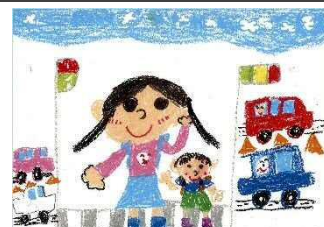


川崎区総合防災訓練

交通安全と自転車対策の推進

4,623千円

- 駅周辺における放置自転車が歩行者の通行の妨げになっているため、小学生の絵画を使用した路面啓発シートを設置し、放置自転車の減少に向けた環境整備に取り組みます。
- 警察、各種交通安全団体などと連携し、交通安全キャンペーン活動を行うとともに、幅広い世代を対象に自転車大会や交通安全教室等を開催し、広く啓発活動を行うことで、交通事故の防止、交通ルールの遵守及びマナー向上を推進します。
- 地域、家庭、学校が一体となり、子どもを交通事故から守るという意識の向上を目的として、川崎区新入学児童「交通安全絵のコンクール」を実施します。区内を走るバスに作品を展示したり、作品を使用した啓発品を交通安全キャンペーン等で配布します。



交通安全絵のコンクール
金賞作品

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

827,547千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

209,642千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予 算 額>

問合せ先:総務課 556-6602 内) 62110

940,912千円

(対前年度比:△0.3%)

<主な事業>

地域資源を活かしたまちづくりの推進

27,320千円

- 貴重な地域資源である夢見ヶ崎動物公園を核として、その周辺で活動する団体や企業など多様な主体との協働による「ゆめみらい交流会」を開催し、地域コミュニティの活性化や魅力向上に向けた取組を進めます。また、交流会で生まれたつながりやアイデアを踏まえ、全国の鉄道ファンも訪れる鉄道スポットを活用し、区の魅力や地域資源を併せたスタンプラリーの実施などにより、新たな賑わいを創出します。(拡充)
- 市制100周年に向けて、寄附・募金等を活用した梅の植樹により梅林を復活させるとともに、郷土の歴史の継承や地域コミュニティの活性化を区民と協働で取り組む「御幸公園梅香事業」を推進します。
- 「新川崎・創造のもり」での科学技術・子ども向け環境啓発イベント、「ミューザ川崎シンフォニーホール」でのコンサートの開催などにより地域特性を活かした魅力あるまちづくりを推進します。
- 地域住民等と連携・協働して緑化活動を実施することで花と緑のうらおいのあるまちづくりを推進します。



ゆめみらい交流会



御幸公園

健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進

8,258千円

- 地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域住民とともに「幸区ご近所支え愛事業」を推進し、各町内会・自治会の特性に応じた見守り・支え合いの仕組み作り等を進め、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできるまちの実現を目指します。
- 運動・サロン等の自主活動グループの交流会実施や活動紹介情報誌の発行により、区民が身近な場所で健康づくり活動に取り組むことを支援します。
- 「保健福祉情報さいわい」、「我が家の食品衛生」、「手洗いハンドブック」や動物愛護小冊子といったパンフレット等の発行、食品衛生に関するポスター展や手洗い講習会・動物愛護教室の開催等を通じ、区民の保健福祉や健康、衛生に対する理解を深めます。



ご近所支え愛事業部会

安心して子育てできるまちづくりの推進

8,365千円

- 区内の子ども・子育て支援関係団体の連携強化を図り、地域全体で子育てを支援する環境づくりを推進します。
 - ・幸区子ども総合支援ネットワーク会議等による関係機関相互の連携
 - ・「おこさまっぷさいわい」、「お散歩に行こうね!」等の情報誌発行
 - ・「子どもの外遊び・地域人材育成事業」、「パパッとサタデー」実施等
- 要保護児童等の早期把握に努めるとともに、子ども・子育てに関する多様なニーズに対してきめ細やかな相談・支援に取り組み、孤立感や不安感なく安心して子育てができる地域づくりを推進します。



子育て支援
(外遊び)事業

地域コミュニティ活性化の推進

4,401千円

- 市民活動コーナーについて利用団体による自主的な運営を支援するとともに、団体相互の交流を促進し、区内の市民活動の活性化を図ります。
- 町内会・自治会の主な活動を紹介したリーフレットを転入者に配布するなど、身近な町内会・自治会への加入促進を図ります。
- 地域のスポーツ施設等の資源を活用し、区民の健康及び体力の保持増進を図るとともに、スポーツを通じた世代間交流やパラスポーツ体験等によるかわさきパラムーブメントの推進を図ります。



市民活動交流イベント

安全で安心に暮らせるまちづくりの推進

12,093千円

- 避難所運営会議が実施する防災訓練の支援等により地域防災力を強化するとともに、訓練・研修を通じ、職員の災害対応力を向上させ、防災資器材を充実するなど、防災体制の充実を促進します。(拡充)
 - ・「幸区避難所訓練マニュアル」等を活用した区内全避難所(23箇所)における避難所開設・運営訓練の継続実施
 - ・幸区災害対策協議会を通じた関係団体(85団体)相互の連携強化
 - ・住民主体の活発な防災活動を実施している地区(モデル地区)における地区防災計画の策定支援等
- 交通安全教室の開催や事故防止に向けた啓発活動の実施など、区民の交通安全に関する意識高揚に向けた取組を推進します。
 - ・区内の小中学校等を対象とした交通安全教室の開催等
- 地域及び関係団体と連携しながら、防犯や防火などの啓発活動を実施し、安全・安心なまちづくりを推進します。
 - ・防犯や防火に関するキャンペーン・防犯パトロールの実施、パトロールベストの貸出等



避難所開設・運営訓練



交通安全教室

区役所サービス向上への取組

2,308千円

- 「さいわい広報特別号」の発行により区政情報や地域資源等に係る情報を区民へ発信します。
- 窓口呼出番号表示システムのリニューアルにより区役所利用者への利便性向上を図ります。
- 大規模マンション等の転入世帯への事前説明を通じて、区役所窓口の混雑緩和を図るなど、区役所サービス向上への取組を推進します。
- 「区役所改革の基本方針」に基づき、地域をコーディネートする職員の育成に向けた研修等の実施により職員の人材育成を図り、地域の状況に合わせた満足度の高い区民サービスを提供します。

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

529,458千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

60,740千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



中原区

<予算額>

問合せ先:総務課 744-3122 内) 63110

1,218,011千円

(対前年度比: +8.2%)

<主な事業>

地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進

13,033千円

- 武蔵小杉駅周辺地域において、持続可能なコミュニティ形成を目指すための体制づくりを支援します。また、「小杉町3丁目東地区(Kosugi 3rd Avenue)」の開業と「こすぎコアパーク」のリニューアルが予定されていることから、両地区に挟まれた道路空間で「居心地が良く歩きたくなるまちなか」空間を創出するための社会実験を実施します。(拡充)
- 地域メディアで構成する「なかはらメディアネットワーク」を活用し、区の魅力や行政情報を発信します。また、区民の意見・要望などを調査し、今後の区政運営の基礎資料や地域課題解決の参考とすることを目的に区民アンケートを実施します。
- 商店街を地域の情報交換や交流の場として、店舗の特徴を活かした各種教室やテーマ性を意識したイベントの開催など、地域の活性化に向けた取組を推進します。



こすぎコアパークでのイベント
(ストレス解消!駅前スタンド)

安全・安心なまちづくりの推進

7,881千円

- 区の総合的な防災力向上のため、区総合防災訓練、区本部運営訓練や各避難所での訓練を実施します。また、令和元年台風第19号の避難所対応を踏まえ、避難所案内表示や災害時要配慮者の避難支援のための垂直避難用担架等の資器材を配備します。(拡充)
- 防犯パトロール実践講座や防犯パトロール用品の貸与等により、地域防犯活動の活性化に向けた取組を推進します。また、子ども自身が犯罪から身を守る力を養うための「自分を守る安全マップ」づくりを通して、地域全体で見守り活動を推進します。(拡充)
- 自転車やバイクに関する交通事故を防止するため、スクアードストレート方式(スタントマンが交通事故を再現)による交通安全教室を実施します。
- 区内の駅前周辺等で放置自転車対策に向けた取組を推進します。



中原区総合防災訓練
(避難所開設ツアー)

区民と協働したこども支援の推進

9,844千円

- 「中原区子育て情報ガイドブック」、「子育て情報等紹介リーフレット」、「中原区周辺子育て施設マップ」やホームページ等により、多種多様な子育て情報を効果的に提供します。
- 親子の仲間づくりや居場所づくり、子育てしやすい地域のコミュニティづくりを推進するため、「子育てサロン」(15か所)の運営を支援します。
- 区内の子どもに関わる団体・機関等が一堂に会した情報交換や交流の場「なかはら子ども未来フェスタ」を開催し、地域全体で子育てを支えるまちづくりを推進します。



なかはら子ども未来フェスタ

人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化

2, 986千円

- 地域包括ケアシステムの浸透や担い手のスキルアップ等を図るとともに、地域交流のきっかけづくりを目指し、「中原区地域包括ケアシステム推進のための講演会」を開催します。
- 「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」の基本理念である「誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現」に向けて、在宅療養を選択肢の一つとして区民が検討できるようパンフレットを作成し、普及啓発を推進します。
- 区内で福祉や健康に関わる活動をする団体やボランティアなどが集う「なかはら福祉健康まつり」を開催し、区民の福祉と健康への理解を深めるとともに、参加団体や区民の交流を深めます。



地域包括ケアシステム
推進のための講演会

多様な地域資源を活用したまちづくりの推進

14, 083千円

- 区内に拠点をおく「かわさきスポーツパートナー」との連携による親子サッカー教室やバレーボール教室、バスケットボール教室、アメリカンフットボール・フラッグフットボールの普及啓発イベント等の開催により、スポーツを通じた地域の活性化を推進します。
- 区内の中学校・高等学校の生徒の運営参加による「青少年吹奏楽コンサート」や、地域で活動するアマチュアミュージシャン等が出演するボランティアによる音楽ライブ「In Unity」を開催し、音楽を通じた地域の活性化を推進します。
- 区民ボランティアとの協働による区役所や駅周辺等の区内5か所の公共花壇の植栽やその維持管理、親子花植体験、花植講習会等の開催により、花や緑を活用した地域の魅力や景観の向上を図り、区民が住み続けたいと思うまちづくりを推進します。
- 学校・企業・地域等と連携し、区内小学校での「子ども環境学習」や「エコ暮らしこフェア」等を開催し、地域における地球温暖化防止等に向けた取組の普及啓発を推進します。



NECレッドロケッツによる
バレーボール教室

区役所サービスの環境改善

2, 238千円

- 武蔵小杉駅周辺の大規模な再開発等による人口増加に伴う行政需要の増加に対応した適切な区役所サービスの提供に向けて、各窓口における混雑緩和対策やサービス向上研修、庁舎内の環境改善等の取組を推進します。また、区役所を訪れる誰もが気軽に集い憩うことのできる空間整備に向けた取組を推進します。

区の機能強化に向けた取組

5, 000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

457, 797千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

438, 643千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予 算 額>

問合せ先:総務課 861-3120 内) 64110

890,672千円 (対前年度比: +3.2%)

<主な事業>

地域資源を活用した魅力あるまちづくりの推進

15,404千円

- 高津大山街道周辺の歴史的・文化的な資源を保全・活用し、魅力的な空間創造と地域活性化に向けて、住民の交流促進や、地域の歴史への関心喚起につながるイベント等を開催します。
- 橋地区の農的資源を活用して地域の魅力を高め、地域の活性化に結びつけるため、ファーマーズマーケット「高津 さんの市」や農業体験イベントを実施します。
- 区内の歴史・文化などの地域資源のネットワーク化を図り、回遊性のある魅力的なまちづくりを進めます。また、広告収入を活用し、公共サインの適切な維持・更新を行います。
- 二ヶ領用水久地円筒分水の環境を維持するため、区民との協働による清掃活動等を継続して実施します。また、芝生の植替え等、身近な憩いの場としての空間整備を推進します。
- 「まちのこぼれ話」や古写真を収集・保存・整理し、ウェブサイト「高津区ふるさとアーカイブ」で公開するなど、高津のまちの記憶を次世代に引き継ぐ取組を進めます。



市民活動団体を中心とした
久地円筒分水の維持管理活動

多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進

10,653千円

- スポーツへの参加促進やダンスイベントの開催を通じ、区民の交流機会を創出し、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化やつながりづくりを推進します。また、障害者スポーツ体験イベント等を通じて、障害者スポーツの普及とかわさきパラムーブメントの啓発を進めます。
- 町内会・自治会の役割や活動を広報することにより、地域における顔の見える関係づくりを支援します。
- 市民活動・まちづくり活動に必要な情報や活動の場を各団体へ提供することにより、その活動を支援します。
- 多文化交流事業や講演会の開催を通じ、外国人市民を含む区民の相互理解を図り、支え合いながら共に暮らす多文化共生のまちづくりを推進します。
- 「高津区ものづくり企業マップ」の活用などにより、区内ものづくり資源の魅力を発信するほか、ものづくりイベント等を通じて工場と地域住民の交流を促進します。



多世代が参加する
障害者スポーツ体験イベント

総合的な子ども・子育て支援の推進

4,193千円

- 誰もが安心して子育てができるよう、各種子育て支援講座を実施するほか、一部に英語・日本語ルビを付した子育て情報ガイドブックを区民と協働で発行し、子育て情報を発信します。
- 関係機関が連携し、地域で子育てしやすいまちづくりを推進するとともに、子育てを支えているグループ等の活動を支援して、地域の子育て力の向上を図ります。

すこやか・支え合いのまちづくりの推進

4,090千円

- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの推進に向け、在宅医療の普及啓発及び地域社会全体で高齢者を見守る体制づくりを進めます。また、区内マンションにおける住民間や地域との「つながりづくり」の取組支援や、講演会や交流会を通じた好事例の共有を通じて、良好なコミュニティ形成を推進します。
- 「高津公園体操」の普及促進や健康づくり活動団体の交流を図り、介護予防・健康寿命の延伸や多世代交流、見守り活動など、共に支え合う地域づくりにつなげます。
- 区役所ロビーで障害者福祉施設の活動を紹介する「ふくシティたかつ」や、地域イベント運営への障害者の参加等、障害者と地域の交流機会を創出し、心のバリアフリーを推進します。



公園体操で広がる多世代交流

安全・安心なまちづくりの推進

13,020千円

- 住民相互の連携力・防災力を強化するため、高津地区・橘地区の防災訓練を継続実施します。また、避難所運営体制の強化を図るため、避難所開設訓練を継続実施するとともに、風水害時における円滑な避難所運営に必要な物品等を充実させます。さらに、区民の防災意識を喚起するため、参加者自らが身近な地域の減災マップを作成するワークショップを開催します。(拡充)
- 道路冠水や床下浸水が発生する恐れが高い地域に「土のうステーション」を設置し、地域住民が容易に土のうを入手し、災害に備えることができる体制を整備します。(拡充)
- ペットの飼い主等に対し、防災意識を高め、災害への備えを促すため、必要な備蓄品や発災時の対応に関する講習会を実施するほか、防災訓練会場での展示等を行います。(新規)
- 交通安全意識向上と事故防止のため、多世代向け交通安全教室等の啓発活動を実施します。



設置が進み地域で活用される土のうステーション

区民との協働で進める環境まちづくりの推進

8,116千円

- 「エコシティたかつ」推進方針に基づき、地球温暖化適応策及び生物多様性保全として、学校ビオトープを活用した環境学習・雨水循環の取組の推進、区内緑地における保水力向上や自然の賑わいの回復に向けた活動等を実施するとともに、区民への普及啓発を行います。
- 区民との協働により設置した花壇等の維持管理を行い、花と緑のまちづくりを推進します。

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

381,580千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

45,247千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予 算 額>

問合せ先:総務課 856-3122 内) 65110

999,218千円

(対前年度比: +8.0%)

<主な事業>

多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進

10,010千円

- 区内を中心に活動する和太鼓団体による演奏のほか、地域に伝わる民俗芸能の舞台を取り入れ、「響け!みやまえ太鼓ミーティング」を開催し、文化・伝統の再認識と、保存・継承に向けた担い手の発掘と育成につなげます。
- 歴史的遺産や農などの地域資源を活用したウォーキングイベントの実施や、「宮前区農産物直売所ガイド&マップ」等により情報を発信し、多様な人材の参画による地域づくりを促します。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を踏まえ、地域にゆかりのあるトップアスリートと共に、スポーツやパラスポーツに対する区民の関心を高め、様々な世代がスポーツやパラスポーツに親しめる環境づくりを進めます。
- テレビ番組とインターネットでの動画配信により、区内の様々な魅力・情報を発信します。映像を通じて、身近でより伝わる広報を目指します。



宮前ふれあいスポーツフェスティバル

地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進

14,546千円

- 宮前区まちづくり協議会を通して市民活動団体を支援するとともに、団体間の交流や連携を促進し、地域の活性化を図ることで、区民主体のまちづくりを推進します。
- コンサルタントの専門知識を活用し、宮前区まちづくり協議会の活動や組織運営を支援します。また、協議会のこれまでの役割や成果等を踏まえ、将来的なあり方を検討します。(拡充)
- 区民の主体的な花壇管理、整備を推進し、地域コミュニティの形成支援及び区のイメージアップを図ります。また、講座や交流会を開催し、緑化活動団体の活性化に向けた人材育成と技術支援を行います。
- 「夏休み子どもあそびランド」を実施し、子どもたちが「あそび」を通じて地域住民と交流を図り、地域を「ふるさと」として実感できる地域形成の推進を図ります。
- エリア図及び活動内容等を掲載した「町内会・自治会ガイドブック」を転入者に配布します。併せて、子育て世代に向けたリーフレットを新規作成し、宮前区全町内会・自治会連合会主催の「ご近助ピクニック」等で配布し、町内会・自治会の加入促進に取り組みます。(拡充)



ご近助ピクニック

心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進

8,010千円

- 地域包括ケアシステムの構築に向けて、多様な主体と連携した「宮前区民シンポジウム」やワークショップを通じた地域のつながりづくり、「在宅療養講演会」の実施、区民の「意識づくり」に向けた広報などを行います。

○地域の大学と連携した取組を踏まえ、医療・福祉に関する住民意識調査を行い、その成果を地区の特性に応じた地域づくりや地域医療・福祉の向上の支援につなげていきます。

○心のバリアフリーを目的とした「しあわせを呼ぶコンサート」を開催し、障害者の相互理解、自立支援・社会参画の拡大を目指します。



しあわせを呼ぶコンサート

地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進

9,256千円

○情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」や、ホームページ、ソーシャルメディアなど多様な媒体を活用し、障害のある方や外国人住民を含むすべての区民が、地域の中で安心して子育てができるよう支援します。

○こどもサポート南野川における様々な課題を持つ子どもたちの居場所づくりや生活・学習支援など、きめ細やかな子ども・子育て支援を行います。

○地域住民が主体となって身近な公園等を活用して行われる「冒険遊び場」活動を支援し、次世代育成の場をつくることで、子どもの健やかな成長と地域コミュニティの活性化を目指します。

区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進

8,308千円

○地域防犯団体のパトロール活動や落書き消し活動の支援、交通安全教室の実施等により、安全で安心して暮らせるまちを目指します。

○防災フェアを「ご近助ピクニック」と同時開催し、町内会・自治会活動及び防災意識の普及啓発を図ります。また、防災推進員養成研修を実施し、地域人材の育成を行います。

○令和元年台風第19号を踏まえ、避難所運営に必要な資器材を新たに配備するほか、宮前区地域防災連絡会議の開催により、地域防災力の向上を図ります。(拡充)

○市営住宅集会所における住民主体の出張販売会の開催など、地域住民や企業等、多様な主体の強みを生かした協働・連携による地域課題解決の取組を支援します。



防災フェア（救出訓練はしご車）

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

○区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

532,416千円

○区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

72,052千円

○区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。

<予算額>

問合せ先:総務課 935-3122 内) 66110

1,140,472千円

(対前年度比: +10.1%)

<主な事業>

地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進

22,531千円

○多様な主体と協働し、まちの魅力の発信とイメージの向上を図り、訪れる人も住む人も楽しめる「ピクニックタウン多摩区」の取組を進めます。

○10回記念となる「たま音楽祭」や、「アトリウムコンサート」等を開催し、音楽を通じて多摩区の魅力発信とイメージアップを推進します。(拡充)

○スポーツに親しむ機会の提供と、優れたスポーツ選手との交流を通じて地域のスポーツ活動を促進するため「多摩区スポーツフェスタ」を開催します。

○登戸土地区画整理事業の進展に伴い大きく変わりゆく登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の状況を踏まえ、まちの賑わい継承の手法の一つとして、AR(拡張現実)を活用した取組を実施し、まちの回遊性の更なる向上を図ります。



たま音楽祭

災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進

6,804千円

○地域防災力向上のため、市民の防災意識の醸成、自主防災組織の育成等を目的とした防災フェア・防災講座等の開催や、防災に対する地域人材育成の促進に加え、次世代の防災リーダーを発掘・育成するため、子育て世代等も興味を持って参加できる訓練を実施します。

○区の危機管理能力を向上させるため、職員を対象とした防災基礎研修を実施し、区本部や避難所の的確な運営体制の充実を図ります。洪水・浸水害時の避難所運営における区民の安全確保のための資器材を整備します。(拡充)

○地域、警察及び消防と連携して地域へのパトロール活動支援や防犯・交通安全対策を併せた啓発の取組を実施し、安全で安心できるまちづくりを進めます。

○スタントマンが交通事故を再現するスケアードストレート方式の交通安全教室の開催や、小学生から募集した交通安全標語による啓発活動により、交通安全意識の定着を図ります。

たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進

9,518千円

○発達に不安を抱えている親子に、専門職が集団遊びや個別面接を通してかかわることで、育児不安の軽減や子どもの発達を促す支援を行います。

○子ども・子育て支援団体や関係機関によるネットワーク会議を開催し、地域全体で子育てを支援する取組を進めます。

○公園や広場など身近にある自然環境の中で子どもの外遊びと地域との交流を推進し、子どもの創造力と社会性を培います。

○乳児の親子を対象に、臨床心理士による子育てセミナーの開催数を増やし、語りかけやスキンシップ、保育士等の専門職による親子遊びと成長・発達との繋がりを学ぶことで、健やかな育ちを支援します。(拡充)

すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進

3,832千円

- 地域包括ケアシステムの構築に向け、町内会・自治会をはじめとした多様な主体と連携しながら、住民向けに事例紹介やワークショップを開催するなど、住民自らが主体となり地域課題の把握・解決を進めるための取組を広めていきます。
- 区内小学校での認知症サポーター養成講座や中学校での認知症講演会の開催を継続し、認知症への理解を深め、認知症の人や家族が安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。
- 多摩区総合庁舎アトリウムを利用し、区内の障害者団体や作業所等の活動紹介や作品展示、相談先の紹介等を行い、障害福祉への理解と関心を促進します。
- 「バリアフリー わたしとあなたとこの街と」をテーマに開催している多摩ふれあいまつりにおいて、20周年記念のコンサートを実施します。(新規)



住民向け事例報告会の様子

市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進

16,268千円

- 大学生の地域参加を促進するプログラム「たまなび」や「多摩区3大学コンサート」などを実施し、区内3大学と地域との交流・連携を図るとともに、地域の課題解決に向けた取組を3大学と連携して実施します。
- ホームページや広報物による町内会・自治会活動の情報発信、講演会等の開催により、町内会・自治会の抱えている課題の解決を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。
- 市民活動団体等が自主的、主体的に実施する活動を支援するため、「磨けば光る多摩事業」において提案を募集・選定し、区の事業として協働で実施します。
- 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組を推進するため、地域で活動する団体等からの相談受付や活動支援に向けたコーディネート等を行うソーシャルデザインセンターについて、区民主体で効果的に運営するための支援を行い、市民創発による地域課題の解決に向けた取組を進めます。(新規)



たまなび「1日子ども商店街」

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

468,719千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

180,875千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



ピクニックタウン多摩区

水と緑と学びのまち
多摩区



麻 生 区

<予 算 額>

問合せ先:総務課 965-5106 内) 67110

916,659千円 (対前年度比: +1.8%)

<主な事業>

芸術・文化のまちづくりの推進

15,920千円

- 区内に集積する芸術関係資源や人材等を活かしながら、市民、事業者、教育機関、行政等が連携して「芸術・文化のまち麻生」を推進するため、団体間の連携や情報共有・発信、交流を促進する「あさお芸術・文化交流カフェ」全体交流会の拡充や、誰もが芸術・文化を楽しむための環境づくりに取り組みます。(拡充)
- 地域の文化団体や観光関係団体等と連携して、麻生区特有の伝統・伝承文化の魅力を活かした事業を実施します。



kirara@アートしんじり

農と環境を活かしたまちづくりの推進

6,193千円

- 区内の大学や、農業事業者等と連携し、農業資源や緑地等の環境資源を活用して地域交流を推進します。特に、黒川地域では、黒川地域連携協議会の3つの専門部会が実施計画に基づいて、地域活性化や里山保全利活用を推進します。
- 区民一人ひとりが取り組める身近なエコ活動を啓発し、地球温暖化対策、自然エネルギーについての講座等を開催します。



ダイコンの収穫体験

高齢化への対応とすこやか・支え合いまちづくりの推進

4,004千円

- 地域包括ケアシステムの推進に向け、多様な主体との連携や地域資源を活用し、各地域の実情に合わせた支え合い活動の展開を進めます。区内の大学と連携し、多くの学生や区民が今後の担い手となるよう、地域活動に参加するきっかけとなる取組を実施します。
- 健康づくりや閉じこもり予防等のため、公園等を拠点にした健康ウォーク・健康体操及び地域活動の活性化と新たな拠点づくりへの支援、あさおウォーキングマップの普及を行います。



大人のための
はじめてのコーラス教室

安全・安心まちづくりの推進

10,111千円

- 支え合いの地域づくりを通じた地域防災力の向上に向け、多様な主体の参加による区総合防災訓練や防災イベントの実施、各家庭の備えを適切に啓発するための冊子を作成します。また、避難所機能の充実に必要な資器材を配備します。(拡充)
- 区の災害対応力強化を図るため区本部運営訓練等を実施するなど、区本部活動を安定して運営するための取組を推進します。
- 交通安全関連団体と連携し、街頭啓発活動、安全パトロール実施組織への支援、研修会、スケアードストレート方式による交通安全教育、麻生区メール配信システムの運用等を行います。



麻生区総合防災訓練

総合的な子ども・子育て支援の推進

5,711千円

- 子育てに役立つ講座や親子で楽しむイベント、子育てサークルにボランティアを派遣し、活動を支援する子育て人材バンク事業等を行います。
- 区内の保育園等子育て関連機関や民間企業と連携し、地域における子育て支援を推進します。
- 麻生区・6大学公学協働ネットワークとの連携により、大学の施設や人材を活用しながら、映画づくりや鶴見川での体験学習、コンサートなど、様々な子ども・子育て支援事業を実施します。
- 区内の子育て支援団体、大学等と行政が一堂に会し、子育て世代を対象にした子育てフェスタを開催し、地域全体で子育てを支えるまちづくりを推進します。



鶴見川での体験学習

地域資源を活用したコミュニティづくりの推進

17,970千円

- 市民組織が運営する「麻生市民交流館やまゆり」を区の市民活動支援拠点として位置づけ、市民活動の場や情報等を提供し、市民活動の一層の推進を図ります。
- 地域の担い手である町内会・自治会の活動を支援し、地域住民のつながりや地域の課題解決力の強化を図るとともに、地域コミュニティの活性化に取り組みます。
- 地域人材を発掘・育成し、市民活動・地域活動へつなげるしくみづくりを進めます。
- 川崎フロンターレ麻生グラウンドをはじめとした区内の様々なスポーツ資源を活用した連携事業を実施するほか、あさおスポーツフェスティバルを通じて、区内で行われる各種スポーツ大会を支援します。
- スポーツ・健康ロードの活用や総合型地域スポーツクラブ運営支援事業等を実施し、スポーツを通じたコミュニティづくりを進めます。
- 総合型地域スポーツクラブやスポーツセンターにおけるパラスポーツ体験や教室開催の支援等を実施し、かわさきパラムーブメントを推進します。



「地域デビュー」の相談窓口



川崎フロンターレとの連携イベント

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

442,036千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

111,857千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。

上下水道局

<予算額>

問合せ先:財務課 200-3104 内) 45403

152,821,730千円

(対前年度比: +2.0%)

<主な事業>

安定給水の確保と安全性の向上

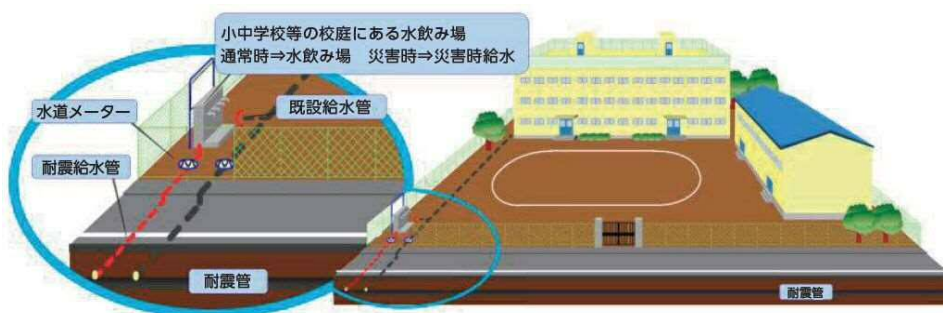
水道施設・管路の更新・耐震化事業の推進

- 地震発生時の管路被害を抑制するため、市内の老朽化した管路や市立小中学校等の避難所への供給ルートとなる管路などを耐震管で更新します。(更新延長約40km)
- 応急給水拠点の利便性を高め、より迅速な応急給水の実現を図るため、供給ルートとなる管路の耐震化が完了した小中学校の水飲み場と配水池・配水塔を活用し、開設作業が不要な応急給水拠点の整備を計画的に進めます。
- 基幹管路の将来における更新や、漏水事故・維持管理等への対応強化のため、基幹管路の二重化・ネットワーク化を進めます。
- 長沢浄水場排水処理施設において、施設の更新・耐震化を進めます。

13,612,471千円



耐震管布設工事



開設不要な応急給水拠点の設置



基幹管路のネットワーク化 (イメージ図)



長沢浄水場排水処理施設

工業用水道施設の整備事業の推進

2,217,667千円

- 老朽化した水江町の配水管(3号配水支管)などの更新を進めます。
- 水道との共用施設である長沢浄水場排水処理施設の更新・耐震化を進めます。

下水道による良好な循環機能の形成

防災・減災、国土強靱化のための浸水対策・地震対策事業の推進

5, 548, 505千円

- 令和元年台風第19号の被害を踏まえた短期的な対策の取組を推進します。
- 浸水対策の重点化地区において、三沢川地区及び土橋地区などの対策を推進します。
- 局地的な浸水被害が発生している箇所において、地域特性を踏まえた対策を推進します。
- 想定しうる最大規模の降雨に対し、地下街から人々を安全に避難させる取組（川崎駅東口周辺地区）を推進します。
- 川崎駅以北の地域において、被災時にも機能確保が必要となる避難所や重要な医療機関等と水処理センターを結ぶ管きよなど、重要な管きよの耐震化を推進します。
- 大島ポンプ場などにおいて、耐震化工事を推進します。
- 麻生～等々力水処理センター間において、耐震性を有する管きよによる汚泥圧送管の二条化を推進します。



雨水管布設工事

合流式下水道改善事業の推進

2, 329, 240千円

- 下水道法施行令に基づき、令和5年度までに対策を完了することが義務付けられている合流式下水道改善事業について、雨天時に未処理下水が公共水域に放流されることを削減するため、六郷遮集幹線の整備、大師河原ポンプ場の再構築に併せた施設の改造を推進します。

高度処理事業の推進

5, 415, 604千円

- 下水道法に基づき神奈川県が策定した「東京湾流域別下水道整備総合計画」において、東京湾流域の各都市が取り組んでいる令和6年度までの水質目標の達成に向け、等々力水処理センターの高度処理施設（流量調整池、脱窒ろ過池、反応タンク）の整備を推進します。



等々力水処理センター高度処理事業

下水道の管きよ・施設の適切な維持管理と老朽化対策及び未普及解消事業の推進

5, 765, 262千円

- 老朽管が多い入江崎処理区において、老朽管の布設替えや更生工法による再整備を推進します。
- 渡田ポンプ場や大師河原ポンプ場における施設の再構築を推進します。
- 水処理センター・ポンプ場などの各施設における機械・電気設備の長寿命化対策を推進します。
- 河川区域など、下水道整備が困難な地域において、関係者と協議調整を進め、未普及地域の解消に取り組みます。



渡田ポンプ場再構築事業
(完成イメージ)

交 通 局

<予 算 額>

問合せ先: 経理課 200-3203 内) 47301

12,566,335千円 (対前年度比: +2.8%)

<主な事業>

市バスの輸送サービスの充実

安全な輸送サービスの確保

36,898千円

- 区役所や警察署等と連携して、小学校、幼稚園、高齢者施設等を対象とした交通安全教室を開催します。
- 自転車等駐車場に設置した自転車の接触事故に対する注意喚起のための看板を更新するなど、事故防止に取り組みます。
- ドライブレコーダーを活用し、安全運転意識の向上を図るとともに、発生した事故の要因分析等を行うことで、事故の再発防止に取り組みます。

市バスネットワークの推進

8,958千円

- 主要鉄道駅や公共施設等へのアクセス向上や利用実態に合わせたダイヤ改正など、市バスネットワークの充実に取り組みます。

お客様サービスの推進

11,472千円

- 添乗観察及びドライブレコーダーを活用し、その結果に基づく改善指導を行い、お客様サービスの向上に取り組みます。
- 外部講師による運転手接客研修を行い、サービス業としての心構え、接客事例などを学習することで、接客サービスの向上に取り組みます。

バス利用環境の充実・移動空間の快適化

1,987,256千円

- 使用年数を延長してきたバス車両を計画的に更新します。また、環境に配慮したハイブリッドバスを導入します。
 - ・ハイブリッドノンステップバス 2両
 - ・ノンステップバス 21両
- お客様への快適なバス待ち空間の提供に向けて、バス停留所施設（標識、停留所上屋等）を計画的に更新します。
 - ・停留所上屋 8基、照明付停留所標識 19基、
二面式停留所標識 20基
- 複数のバスターミナルがある主要鉄道駅において、バス利用者の利便性向上や訪日外国人旅行者等の移動の円滑化を図るため、民間バス事業者を含めた路線バスの発車時刻の案内や多言語表記などに対応したバス総合案内表示板を整備します（1基）。（拡充）
- 安定的・計画的な車両整備・点検に向けた取組として、車検整備の自家化を推進し、自家車検が可能な車両数の増加を図ります。（拡充）



バス総合案内表示板（川崎駅）

事業基盤の強化に向けた取組の推進

646,520千円

- 全国的にバス運転手が不足しているバス事業を取り巻く状況を踏まえ、大型自動車第二種免許を保有していない若年層の採用に向けて運転手（養成枠）による採用選考を推進します。
- 運転手・整備員の計画的な採用に向けて、積極的な広報や多様な採用選考等を実施します。
- 上平間営業所整備場棟の改築等を計画的に実施します。（令和2年10月完成予定）
- 市バス運転手としての使命感やプロ意識の醸成、更なるスキルアップ等を目的とした運転技能コンクールを他バス事業者と共同開催し、モチベーションの維持・向上を図ります。



上平間営業所完成イメージ

営業所の管理委託

2,244,423千円

- 上平間営業所及び井田営業所の管理委託体制を継続し、コスト削減やサービス水準の維持・向上を図ります。

地域貢献の推進・市バス70周年記念事業の実施

27,751千円

- 昭和25（1950）年に営業を開始した市バスが、令和2（2020）年12月に70周年を迎えるに当たり、70周年記念グッズの発売、市内を市バスで巡るスタンプラリーなどの記念事業を実施します。（新規）



© 1976, 2020 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. G603809

「スタンプラリー」台紙デザイン例

- 市バスキャラクター「ノルフィン」と「ハローキティ」とのコラボレーションによる事業を展開し、市バスのイメージアップを推進します。
- 市バスに親んでもらうイベントとして、お客様への日頃の感謝を込め、「市バス♥安全・安心フェスタ」を開催します。
- ハロウィン及びクリスマスのシーズンに、バス車両の装飾を近隣の小学校児童が参加して行い、期間限定で路線運行を実施します。
- 市内小学校児童による絵画作品を掲出したギャラリーバスを運行します。

職員（運転手等）の健康管理の徹底

23,311千円

- 運転中の心臓疾患、大血管疾患の発症を予防し、疾病の早期発見・治療につなげるため、心臓疾患・大血管疾患検査を新たに実施します。（新規）
- 運転中の脳血管疾患の発症を予防し、疾病の早期発見・治療につなげるため、脳健診を引き続き実施します。また、定期健康診断の受診を徹底させ、職員の健康保持・増進を図ります。
- 睡眠時無呼吸症候群（SAS）のスクリーニング検査を計画的に実施します。

病 院 局

<予 算 額> 問合せ先:経営企画室 200-3855 内) 70520

41,530,884千円 (対前年度比: +4.9%)

<主な事業>

信頼される市立病院の運営

経営健全化の推進

287,636千円

○市立病院が公立病院としての使命と役割を果たし、市民から信頼される安全で安心な医療サービスを継続的かつ安定的に提供していくため、新公立病院改革プランに位置付ける「川崎市立病院中期経営計画 2016-2020」を着実に推進し、更なる医療の質の向上と経営の健全化に取り組みます。

円滑な在宅復帰に向けたリハビリ提供体制の強化

34,190千円

○地域包括ケアシステム推進の一環として、川崎病院及び井田病院において、入院患者のADL（日常生活動作能力）の維持・回復による円滑な在宅復帰を支援するため、リハビリ提供体制を強化し、リハビリの早期介入と充実を図ります。

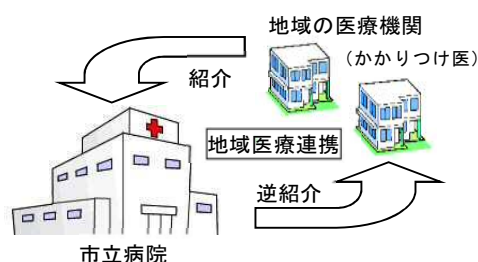
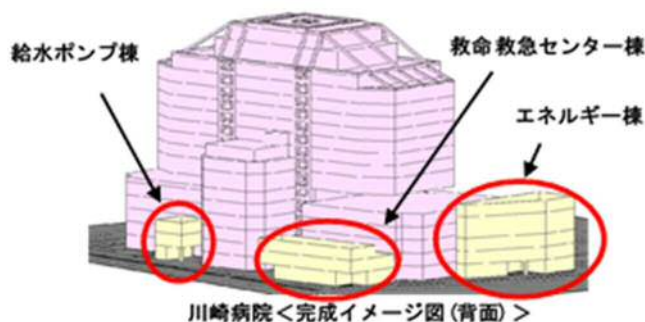


川崎病院の運営

11,165,875千円

○救急搬送患者（特に三次救急）の受入れや、小児・周産期医療等を継続的かつ安定的に提供するため、市の基幹病院として高度急性期医療を着実に担う体制を確保するとともに、今後の市内における人口増や高齢化の進展に伴う救急等医療需要の増加に対応します。

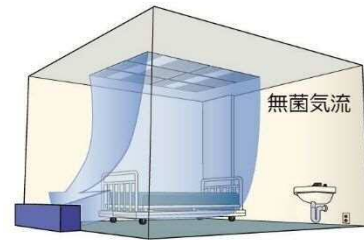
○既存棟の地下1階に集中的に設置されているエネルギー設備の更新、救命救急センター棟の新築及び既存棟の改修を進めます。エネルギー設備の更新は、エネルギーサービス事業として実施し、工事に着手します。また、救命救急センター棟の新築及び既存棟の改修については、令和3年度中の設計の完了を目指します。



○地域医療支援病院として、地域の医療機関と顔の見える関係を構築し、役割分担を進めるほか、PET-CTやMRIをはじめとした検査機器の共同利用を促進するなど、地域医療連携の更なる取組を推進します。

＜無菌室空調設備のイメージ＞

- 白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫をはじめとした血液悪性腫瘍や、それに対する化学療法などにより免疫力が低下している患者を感染症から守るため、個室を改修して高性能な空調設備等を備えた無菌室（5室）を整備します。



4, 968, 798千円

井田病院の運営

- 南部地域の中核病院・地域がん診療連携拠点病院として、増大するがん等の成人疾患医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、緩和ケア医療などを提供するほか、結核患者の受入を行います。また、地域包括ケア病棟の活用など回復期機能の充実や、地域医療機関との連携による機能分化の推進、在宅復帰・在宅療養支援の充実を図ります。



井田病院

＜令和元年度大規模地震時医療活動訓練＞



- 令和元年台風第19号の被害状況を踏まえ、浸水想定区域外の高台に立地する水害に強い災害協力病院として、引き続き災害拠点病院と連携した災害訓練の実施や災害備蓄の確保など、災害医療機能の充実強化を図ります。

- 井田病院の再編整備事業については、病院敷地内の広場整備工事等を実施します。

多摩病院の運営管理

828, 632千円

- 学校法人聖マリアンナ医科大学を指定管理者として、小児医療を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療などを提供します。

- 災害拠点病院としての役割を担うとともに、地域医療支援病院として地域のかかりつけ医などと連携を進めることで、地域全体の医療供給体制の向上を図ります。

- 開院から10年以上を経過したことによる施設・設備の老朽化に対し、長寿命化に向けた維持補修を実施します。



多摩病院

特別会計予算

本市の予算は、一般会計のほかに、主に特定の収入をもって特定の事業を行う場合で、一般会計の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合に特別会計を設けています。ここでは、特別会計で実施している事業を紹介します。

競輪事業

24,645,303千円

【所管局：経済労働局】

- 包括業務委託による民間ノウハウを活用した効果的・効率的な事業運営や、川崎競輪場では55年ぶりとなる特別競輪「全日本選抜競輪（G Iグレード）」の開催などにより市財政への継続的な貢献を図ります。

- ・年12回52日開催予定

川崎競輪イメージキャラクター
「九ちゃん」



卸売市場事業

2,315,977千円

【所管局：経済労働局】

- 市場使用料等により、「川崎市卸売市場経営プラン」に基づく施策の推進や、屋上防水工事、監視テレビジョン装置更新工事等の施設整備を行います。

- ・北部市場(中央卸売市場)、南部市場(地方卸売市場)

国民健康保険事業

119,141,252千円

【所管局：健康福祉局】

- 他の健康保険に加入していない方等を被保険者とし、病気やケガをした場合に安心して医療を受けることができるよう、神奈川県と共同で運営します。

- ・被保険者数(年平均) 255,000人

母子父子寡婦福祉資金貸付事業

257,091千円

【所管局：こども未来局】

- 母子父子寡婦世帯の経済的自立を支援するため修学資金等の貸付けを行います。

後期高齢者医療事業

17,301,567千円

【所管局：健康福祉局】

- 75歳以上の高齢者等を被保険者とし、病気やケガをした場合に安心して医療を受けることができるよう、神奈川県後期高齢者医療広域連合と連携して実施します。

- ・被保険者数(年平均) 155,210人

公害健康被害補償事業

77,520千円

【所管局：健康福祉局】

- 一般財団法人川崎市公害対策協力財団からの拠出金を主な財源として、大気汚染の影響による健康被害に係る補償を行うとともに、被害者及びその遺族の生活の安定及び福祉の向上を図ることを目的として、必要な事業を行います。

- ・被認定者数(年平均) 1,188人

介護保険事業

102,628,668千円

【所管局：健康福祉局】

- 要介護認定者等の介護サービス利用に係る保険給付等を行います。
- ・第1号被保険者数（年平均） 310,897人



港湾整備事業

5,885,682千円

【所管局：港湾局】

- 港湾施設使用料や財産収入等により、上屋、荷役機械置場、コンテナターミナル等の港湾施設の整備及び管理運営を行います。
- 東扇島堀込部の土地造成事業を推進し、海面埋立に必要な護岸整備を行います。

勤労者福祉共済事業

109,963千円

【所管局：経済労働局】

- 勤労者福祉共済の会員からの掛金収入等により、給付や福利厚生事業等を行います。
- ・加入者数（年平均） 12,113人



墓地整備事業

385,901千円

【所管局：建設緑政局】

- 墓地使用料等により、墓地（緑ヶ丘霊園・早野聖地公園）の整備を実施します。
- ・壁面型墓所（152か所）の整備等

生田緑地ゴルフ場事業

476,070千円

【所管局：建設緑政局】

- 利用料収入により生田緑地ゴルフ場（多摩区）の整備・管理を実施します。
- ・防球ネット改修工事、池護岸改修工事等



生田緑地ゴルフ場

公共用地先行取得等事業

1,597,666千円

【所管局：財政局】

- 将来、公園や道路などの公共事業に供する用地の先行取得、及び先行取得した用地の維持管理を行い、円滑な事業の実施を図ります。

公債管理

211,077,948千円

【所管局：財政局】

- 川崎市債の発行・償還（元金の償還及び利子の支払い）を行います。
- 将来の元金償還に備え、減債基金への積立を行います。